

平成28年度第1回豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会

日 時	平成28年5月25日（水） 午後6時30分から午後8時5分
場 所	豊明市役所 本館3階 会議室1
出席者	小川雄二委員長、三冶金行副委員長、三谷聖也委員、浅野薫史委員、岸洋行委員、近藤木卯治委員、屋良桂子委員、丸尾敬吾委員、原田義英委員
欠席者	伊藤昌司郎委員
事務局	市長、副市長、参事、教育長、行政経営部長、市民生活部長、健康福祉部長、経済建設部長、消防長、教育部長、学校教育課長、学校支援室長 とよあけ創生推進室
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（20名）
議 題	1 会議運営事項について 2 学校規模の適正化について 3 双峰小学校と唐竹小学校の現状について

議 事 録（要旨）

1 市長あいさつ

学校のあり方についての検討は、豊明市政にとって、もっとも重要な議題であります。豊明市の将来を背負っていく子どもたちの教育環境以上に重要な議題はありません。1学年1クラスの状態が続く現状をそのままにしてよいのか、早急に議論する必要があり、問題を先延ばしにすることはありえません。また、2月に教育委員会より、「早急に統合を検討すべきだが、保護者と十分に話し合い、議論を重ねることが前提である。」と示されましたので、この検討委員会を設置しました。

実際の統合についての議論は今日がスタートとなります。この検討委員会ではゼロベースから検討を重ねていただきたいと思います。

皆様には、第一に両校の現状を把握していただくこと、第二に子どもたちの生きる力を育む教育環境としてどうあるべきかを見つめていただくこと、第三に、現在通っている児童はもちろん、将来通うことになる子どもたちの学校環境を含めて検討していただきたいと思います。

他市の状況も参考にし、最終的にベストな結論を導ければ幸いです。

2 委嘱状交付

- 3 委員紹介
- 4 事務局紹介
- 5 豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会設置条例について
(事務局説明)
- 6 委員長・副委員長の選出等について
【互選により、委員長に小川委員、副委員長に三治委員が選出される。】
【諮問書が市長から小川委員長に渡される。】

7 議題

- 1 会議録運営事項について
(会議運営事項について事務局説明)

【取扱要領が承認される。】

【議事録の署名議員は三治副委員長で承認される。】

【傍聴人数は20名で承認される。】

(傍聴者入室)

- 2 学校規模の適正化について
(事務局説明)

小川委員長 ご質問、ご意見はありませんか。

委 員 資料3の経緯について、以前保護者あての謝罪文をいただいたときに「ゼロベースで検討」という言葉が無かったが、口頭でわざわざおっしゃっていた。しかしまたこの資料では「ゼロベースで検討」の文言がなくなっているのはなぜか。

市 長 あいさつでも申し上げたとおり、この委員会はゼロベースで検討させていただきます。

総合教育会議の中で、教育委員は「早急に統合をしたほうがよい。」との意見を市長に対して述べられたが、それと同時に、「十分に市長部局で責任を持って保護者、地域の方と話し合いを進め、その上で結論を導いてください。」とのことでした。

豊明市では、統合をすることを結論として出したことは一度もありませんが、新聞報道等で保護者の意見を聞かないまま結論を出したとの誤解を与えてしまったため、ご説明文書を保護者にお送りしました。

あくまでこの会議はゼロベースでスタートしていきたいと思っております。

委 員 資料6について、人口について説明がされたが、同じように1クラスである大宮小学校は、検討がなされたのか。また、短期

間ではなく、総合計画的に開発等も含めて人口想定したクラス数等は検討されたか。

教育部長 大宮小学校の検討については、現在は10クラスですが、今後は児童数が増えるとの推計があるので、今回は除いております。

参事 総合計画にある10年で、対象となる区域では、児童が増えることは無いと見込まれています。

委員 資料4にある小規模校の課題について、具体的にどの部分が当てはまると、市は考えているか。

教育長 学級数が少ないことによる学校運営上の課題は①②⑤⑥⑦⑧⑨⑬⑭、教員数が少なくなることによる学校運営上の課題は①②⑧、学校運営上の課題が児童生徒に与える影響は③⑨、が当てはまると考えています。

小川委員長 両校の校長先生はどのようにお考えかお聞かせ願いたい。

委員 唐竹小学校内は、いじめ等も無く、小規模校であるが故の全学年が協力し仲良くしているが、今回の説明では小規模校が全否定されているように感じる。学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、①は否定できないが、②については、運動会などではチーム分けをし、小集団でも競い合っている。⑤については少ない人数でも盛り上がり、修学旅行などは人数が少ないがゆえの充実した活動ができるので、教育効果が下がってはいない。⑦は大規模校より多いなど、一般論と実態は違うということを確認していただきたい。

委員 課題について、学級数が少ないことと1クラスの人数が少ないことを混在しているように見受けられる。分けて考えなければいけない。双峰小学校でも、現在のところ問題はないという認識である。

小川委員長 お子さんが実際に双峰小、唐竹小に通われている委員はどうお思いですか。

委員 双峰小学校は、仲良くやっている。親としては、このまま続けて行けたらというのが本心である。

委員 唐竹小学校では、小規模校だからこそ、いじめらしきものがあったとしても先生が親身になって対応してくれる。また、人数が少ないゆえ、学年を越えて協力していくことが必要になるため、仲がよい。運動会なども親も協力して盛り上げている。

市長 今回の諮問の内容として、現状を否定するものではなく、現状

よりベターな状態にすることを検討してもらいたいというものであることを認識していただきたいと思います。

小川委員長 各委員から小規模校のメリットがかなりあるというお話をいただきました。そのうえで、適正規模にしたときに、メリットが失われるのか、又はさらによくなるのかが大事なポイントになると思われます。手引きも踏まえて総合的に評価する必要があります。本日のところは、ひとまず説明を受け止めていただき、次回以降で議論していきたいと思います。

3 双峰小学校と唐竹小学校の現状について

(事務局説明)

小川委員長 ご質問、ご意見等はありませんか。

委 員 資料9について、双峰・唐竹とも補強工事済みだが、学校として機能するのはあと何年か。

参 事 豊明市公共白書2014から、残存年数は、唐竹小学校21年、双峰小学校は17年で更新の時期を迎えると示されています。

小川委員長 両小学校には特徴的な施設はございますか。

委 員 唐竹小学校はビオトープがある。

教 育 長 委員がおっしゃったとおり、唐竹小学校にはビオトープがあります。放課後子ども教室も運営しており、1階に歴史民族資料館という施設があります。双峰小学校は二村会館で放課後子ども教室や児童クラブを運営しております。

委 員 歴史民族資料館は空き教室を利用した市の施設なのか。教育活動にも利用されているか。

教 育 長 そのとおりです。一般の方にも利用されています。

小川委員長 全体をとおして何か質問等がありますか。

委 員 新聞報道後に集められた唐竹小学校のアンケートがある。賛成25人、反対73人、どちらでもよい22人であった。賛成はクラス替えが無いという理由で、確かにクラス替えはできないが、その分は学校がしっかりカバーをしている。

委 員 検討委員会の設置部署が学校教育課ではなく、とよあけ創生推進室なのはなぜか。

市 長 教育委員会で検討された意見を、学校や地域の方を含めて市長部局で審議検討していくことになっているので、とよあけ創生推進室となりました。

小川委員長 今回現状認識ができましたので、次回の審議につなげていき

と思います。

4 その他

(事務局より、両小学校の運動会について案内)

(次回開催日についての調整)